

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道306号 四日市菟野バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 三重県	
起終点 自：三重県四日市市桜町西 至：三重県三重郡菟野町潤田	延長		4.4 km
事業概要 一般国道306号は、三重県津市を起点とし、本県北勢地域の西部を經由して滋賀県彦根市に至る実延長約8.6kmの幹線道路である。四日市菟野バイパスは、四日市市から菟野町に至る幅員狭小で線形が曲折した未改良区間を解消し、安全で円滑な交通を確保するとともに、地域間の交流を強化する道路である。			
H元年度事業化	H-年度都市計画決定 (H-年度変更)	H元年度用地着手	H6年度工事着手
全体事業費	約6.5億円	事業進捗率	9.6%
計画交通量	7,100台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 6.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 7/8.3億円 (事業費：4/7.7億円 維持管理費：3/6億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 4.3/14.7億円 (走行時間短縮便益：41/135億円 走行費用減少便益：2/11億円 交通事故減少便益：0/1億円)
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ネットワークの構築...現道における大型車のすれ違い困難区間を解消 ・個性ある地域の形成...鈴鹿山麓リサーチパークへのアクセスネットワークの向上 ・災害への備え...緊急輸送道路の整備（第3次緊急輸送道路） <p style="text-align: right;">他3項目に該当</p>		
関係する地方公共団体等の意見	国道306号整備促進同盟会（構成：亀山市、津市、四日市市、菟野町、北勢町、大安町、藤原町、河芸町）が結成されており、事業促進が強く望まれている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	三重ハイテクプラネット21構想における鈴鹿山麓リサーチパークの整備が進み、研究学園都市センター等の各種研究施設が建設された。又、県環境保全事業団の廃棄物処理センターが建設された。		
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成15年度末での事業進捗は9.6%であり、平成16年度に事業を完了し供用開始を図る。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	今年度工事予定地に隣接する一部地権者の事業同意を得ることができず、工事着手が困難となった。しかしながら、隣接地権者の協力が得られるよう鋭意事業説明を実施しているところであり、平成16年度には全線供用開始ができるよう事業完了を目指す。		
施設の構造や工法の変更等	詳細設計の結果による工法変更を実施している。		
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図			